

島根原発再稼働

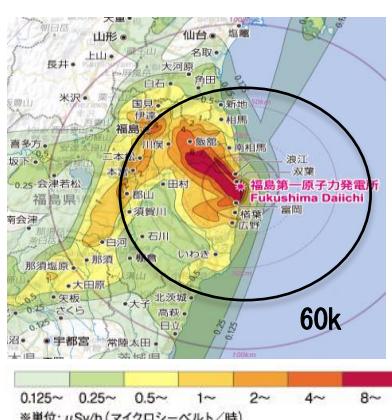
原子力はやめよう！



島根原発は、宍道湖の北側の日本海に面し、山を切り崩し3基が建設されています。島根原発1号機は、2011年3月11日に大事故を起こした福島第一原発1号機と同じ型の原発です。原発から島根県庁の在るところまで約10km、30km圏内には島根県内では松江市・出雲市・安来市・雲南市が在り、鳥取県内では境港市と米子市が在ります。60km圏内には広島県、岡山県が含まれます。

福島第一原発から漏れた放射能の広がり
Radiation contour map
of the Fukushima Daiichi accident

この地図は、2011年3月に地表に落ちた放射性物質がそのままの状態で保存されている場所の2011年12月時点の放射線量を示しています。高さ1mでの測定です。



福島原発事故がもたらしたもの

2011年3月11日に起きた東京電力福島第一原発の事故は、「絶対に起らない」と言われていたものが、地震や津波で、いともたやすく原子炉が崩壊してしまいました。

福島原発事故で放出された放射能は、海洋に80%、陸上に20%と言われていて、陸上部では北西地区の飯館村の60km内が、避難地帯になり、居住できないところになっています。今なお10万人にのぼる人が避難所生活をしています、故郷に帰れない状態です。

原子炉建屋地下に大量に入ってくる地下水は1日約400トンになり、陸上のタンクに溜められた量は約18万トンにも達しています。この放射能汚染水は手がつけられない状態です。一方、事故により飛び散った放射能で汚染された土地の除染が行われていますが、この除染物質をいたしたフレコンバッグが身近なところに積みあげられて処分のしようがないまま放置されています。

原発事故によって、産業や日常の生活、地域社会が破壊されました。

私たちは原発なしで暮らしたい！

中国地方に唯一建設されている島根原発は、福島原発事故後止まっていますが、中国電力は、規制基準適合性審査（再稼働審査）を終え、自治体の了解を得れば再び運転させようとしています。目の前で起きた事故を真摯に受け止めれば、私たちがしなければならないことは、危ない技術にチャレンジすることではありません。

かつて、アメリカのスリーマイルや旧ソ連の切尔ノブイリで事故が起きたときに、「日本ではこんな事故は起きない」と、国も電力会社も高をくくっていました。これらの事故がどれだけ住民に多大な犠牲を強いてきたことか。そして、そのツケが福島の住民の多大な犠牲を生み出すことにも繋がったのではないでしょうか。

今、島根原発を再稼働させれば、いつかフクシマのような事故を繰り返しかねません。住民は望みもしない被曝を強要され、生活を根こそぎ奪われることになります。そして、10万年も管理が必要とされる核廃棄物を増やし続けることになります。そんな愚かで無謀な選択を二度といたくはありません。

私たちは、まだ豊かに残る自然を謙虚に利用した原発のない暮らしを心から望みます。

47万人の 避難計画

故郷を追われ！生活を破壊され！命を脅かされる！

5km圏内住民は

原子炉を冷やすことができないような状態となってから避難準備を始め、これで、本当に、安全に避難数時間内に避難することになっています。できるのでしょうか？

避難は大量に放射能が漏れ出した中

避難住民、放射性物質で汚染されていることもわからないまま、わからぬまま、避難先へ！
(ヨウ素剤服用基準の6倍)で除染



【写真】上：事故後避難車で大渋滞・浪江町

下：島根原発防災訓練の様子

30km圏内住民は

5km圏内住民の避難が完了してからようやく避難することになります。毎時 20 マイクロシーベルト (*) が 1 日以上続けば 1 週間以内の避難、または、直ちに避難します。毎時 500 マイクロシーベルトであれば、* 2 日続けば、年間被ばく上限値に近くなります。

5km圏内住民の避難が終わるまであなたは待ちますか？

地震が起きたら、橋や道路が寸断され、避難対応する要員も集まるのが困難！

支援が必要な高齢者や障がい者は安全に避難できる？

避難バスが足りない！

福島原発事故では、住民の 3 割がバスで避難しました。

島根原発の事故で、住民の 3 割がバスで避難することになれば、4000 台から 5000 台が必要と言われています。ですが、用意きるのは 546 台しかありません。

30km圏内には、支援が必要な 19,000 人の方が自宅で暮らす中には車のない一人暮らしの方も大勢いらっしゃいます。いったい、どうするのでしょうか！



いったい、いつ助けてくれるの？

30km 圏内には、およそ 7000 人の入院患者や施設入居者などが暮らしていますが、事故が起きた際の、患者さんを搬送するための特別な車両も足りていません。

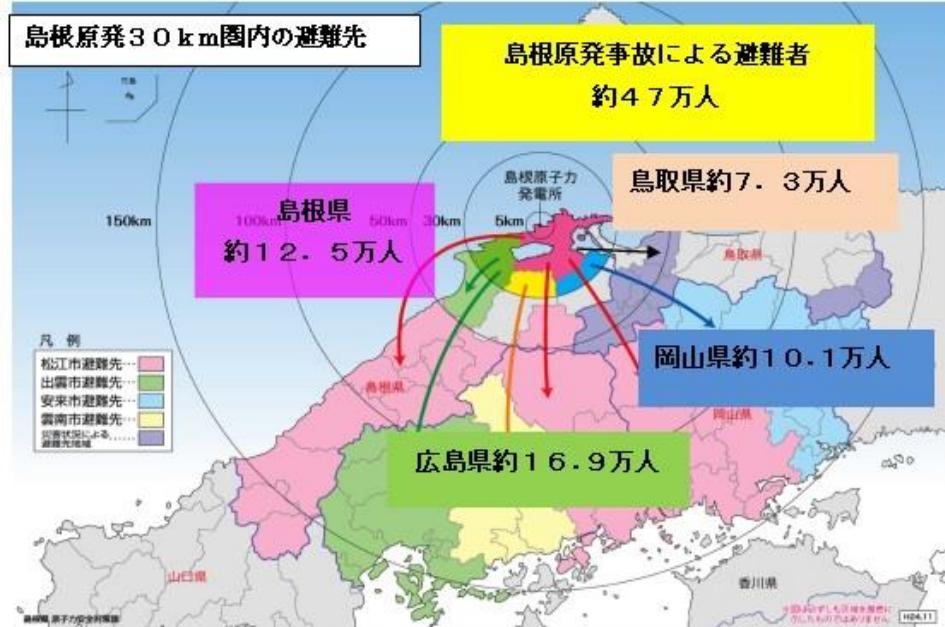
そのために、事故後も病院や施設に退避できるよう、放射性物質の侵入を防ぐための設備が設置されました。これでは、支援が必要な人や若い職員を高い放射線量の中に取り残してしまうことになります。



[避難計画] 住民は散り散りに！受け入れ先自治体は大混乱？

島根原発事故が起こった場合、30km圏内に住む約47万人を避難させるために、島根県西部約12.5万人、鳥取県東部約7.3万人、また広島県約17万人、岡山県約10万人の避難者を受け入れする計画になっています。避難者数はあまりに多く、自治体には大きな負担をかけていくことになります。風向きによっては、受け入れ先自治体も避難しなければならない事態も予想も予想されます。避難計画は絵に描いた餅にすぎません。

とりわけ広島県は、四国電力の伊方原発の避難計画においても、避難者を受け入れることになっています。



No.	受入市町村	避難地域	受入人数	内 要援護者 数
1	米子市			
2	境港市			
3	江府町			
4	大山町			
5	南部町			
6	日南町			
7	日野町			
8	日吉津村			
9	伯耆町			
10	琴浦町	米子市	7,233	
11	三朝町	米子市	2,130	
12	倉吉市	米子市	15,679	
13	湯梨浜町	米子市	6,516	
14	北栄町	米子市	4,033	
15	鳥取市	米子市	2,697	
		境港市	27,630	
16	岩美町	境港市	3,994	
17	八頭町	境港市	4,066	
18	若桜町	状況に応じて島根県より受入	5,000	
19	智頭町	米子市	38,288	
	6市町	米子市	35,690	
	3市町	境港市		
	総計 島根県 19市町	若桜・智頭を除く	73,978	

No.	受入市町村	避難地域	受入人数	内 要援護者 数
1	松江市			
2	浜田市	松江市	32,500	
3	出雲市	出雲市 30km圏外	35,000	
4	益田市	松江市	18,200	
5	大田市	松江市	16,100	
6	安来市			
7	江津市	松江市	9,000	
8	雲南市			
9	奥出雲町	松江市	3,800	
10	飯南町	松江市	1,500	
11	川本町	松江市	1,200	
12	美郷町	松江市	900	
13	邑南町	松江市	3,300	
14	津和野町	松江市	2,000	
15	吉賀町	松江市	1,500	
16	海士町			
17	西ノ島町			
18	知夫村			
19	隠岐の島町			
	総計 島根県 20市町村		125,000	0
*出雲市は30km圏内の住民35,000人を同市内の30キロ圏外へ移動させる計画。				

※この表は、避難元自治体の広域避難計画の資料から作成しました。

No.	受入市町	避難地域	受入人数	内 要援護者 数
1	広島市	出雲市	45,600	1,490
2	呉市	出雲市	16,450	440
3	竹原市	雲南省	1,150	55
4	三原市	雲南省	8,700	415
5	尾道市	松江市	13,000	1,115
6	福山市	松江市	22,550	1,330
7	府中市	松江市	6,450	445
8	三次市	雲南省	6,350	225
9	庄原市	松江市	6,950	320
10	大竹市	出雲市	450	60
11	東広島市	雲南省	13,550	340
12	廿日市市	出雲市	6,900	150
13	安芸高田市	出雲市	5,450	130
14	江田島市	出雲市	250	20
15	府中町	出雲市	1,550	60
16	海田町	出雲市	750	25
17	熊野町	出雲市	1,450	15
18	坂町	出雲市	1,700	40
19	安芸太田町	出雲市	500	30
20	北広島町	出雲市	3,350	130
21	大崎上島町	除外	0	0
22	世羅町	雲南省	3,600	225
23	神石高原町	松江市	2,200	105
	計 12市町	出雲市	84,400	2,590
	計 5市町	松江市	51,150	3,315
	計 5市町	雲南省	33,350	1,260
	総計 広島県 23市町		168,900	7,165
	大崎上島町を除く 22市町		168,900	7,165

No.	受入市町村	避難地域	受入人数	内 要援護者 数
1	岡山市	松江市	25,000	1,920
2	倉敷市	松江市	11,900	1,170
3	津山市	安来市	10,750	915
4	玉野市	松江市	2,150	175
5	笠岡市	松江市	2,450	85
6	井原市	松江市	2,750	185
7	総社市	松江市	4,000	230
8	高梁市	松江市	6,100	195
9	新見市	松江市	5,600	310
10	備前市	安来市	2,750	290
11	瀬戸内市	安来市	3,900	440
12	赤磐市	安来市	4,250	355
13	真庭市	安来市	4,150	420
14	美作市	安来市	2,600	130
15	浅口市	松江市	1,500	210
16	和気町	安来市	1,850	105
17	早島町	松江市	650	30
18	里庄町	松江市	700	85
19	矢掛町	松江市	1,750	25
20	新庄村	安来市	50	50
21	鏡野町	安来市	1,650	155
22	勝央町	安来市	1,050	80
23	奈義町	安来市	950	135
24	西粟倉村	安来市	50	50
25	久米南町	安来市	600	75
26	美咲町	安来市	1,600	210
27	吉備中央町	松江市	450	30
	計13市町	松江市	65,000	4,650
	計14市町村	安来市	36,200	3,410
	総計 岡山県 27市町村		101,200	8,060

あなたの原子力発電の疑問？？？ 何でもQ&A

Q：原子力規制委員会の審査に合格した原発は安全なのですか？

誰が安全を保障するのですか？

A：原子力規制委員会の田中俊一委員長も「審査に合格したからといって、その原発は安全だとは言えない」と明言しています。ただ、定められた規制基準に「合格」したというだけのことです。原子力発電所の存在する県知事らは、政府に責任を取るようにと言っていますが、政府は電力会社に再稼働の責任を押し付け、「安全」のたらい回しです。

Q：島根原発近くに活断層は在るのですか？

A：まさに活断層だらけです。特に原子力規制委員会でも大きな問題になっているのが、島根原発から南側約2キロメートルにある宍道断層です。この宍道断層は、島根原発が建設された当初には中国電力は「無い」と言っていました。活断層が短い時間で伸びる訳はありませんが、これまで中国電力は22キロメートルと主張していた活断層の長さを今では25キロメートルに延長したことを認めています。

〔写真〕中国電力が「活断層はない」と言った地点で、中田高広島大学名誉教授によって発見された活断層



Q：原子力発電が動かないと電力不足が起きませんか？

A：電力不足は、起きません。

現に島根原発1号機は廃炉になりました。2号機も2012年1月27日に停止となつたままで。電力がもっと多く使われるのは夏場ですが、中国電力管内では12年・13年・14年・15年と4回の夏場を原子力発電無しで過ごしています。

Q：再生可能エネルギーによる電力は普及しているのですか？

A：福島原発事故後、急速に普及しました。再生可能エネルギーによる電力を固定価格で買い取る制度が導入されたのがキッカケになりました。中国電力が15年3月末に明らかにした資料によると、526万kWの電力が再生可能エネルギーによる発電となっています。526万kWは、およそ原子力発電5基分の電力に相当します。



〔写真〕鳥取米子ソーラーパークの太陽光発電

Q：原子力発電から出る放射性廃棄物の処分対策はあるのでしょうか？

A：原発の使用済み燃料からプルトニウムなどを取り出した後に残る放射性レベルの異常に高い核のゴミは、容器に入った状態でも約420 Sv/hの放射線量になります。この容器に人が近づけば約20秒で死亡します。日本では、地下300メートル以深に埋め捨てる計画ですが、どの自治体も、このような迷惑施設を受け入れるはずがありません。すでに1万7千t（広島型原爆120万発分）が国内にあり、原発を稼働させれば溜まる一方です。



〔写真〕幌延深地層研究センター

■発行 さよなら島根原発ネットワーク、島根原発・エネルギー問題県民連絡会

連絡先：松江市母衣町55-2 教育会館内 平和フォーラム

中国地方反原発反火電等住民運動市民運動連絡会議

連絡先：広島市佐伯区海老園2-17-9 原発はごめんだヒロシマ市民の会